

JASRIの登録機関としての取組について

平成25年4月3日

登録施設利用促進機関

公益財団法人 高輝度光科学研究センター

専務理事 熊谷教孝

JASRIの登録機関としてのミッション

JASRI

登録施設利用促進機関
(公財)高輝度光科学研究センター

- ①利用者の選定
- ②利用者に対する支援
- ③成果の普及啓発
- ④人材育成



昭和63年 理研・原研によるSPring-8計画の発足

平成 6年10月 共用法(※)施行。この法律に基づきJASRIが指定機構に指定される。

平成 9年10月 SPring-8供用開始

平成13年 9月～平成14年 8月 第1回SPring-8中間評価(平成14年9月付で報告書公開)

平成18年 7月 共用法改正

→ 指定機構制度から登録機関制度へ移行

→ 運営・維持管理業務は一般競争入札へ移行

平成18年 7月～平成19年 1月 第2回SPring-8中間評価(平成19年7月付で報告書公開)

平成23年 4月 SACLAの利用促進業務開始

平成24年 3月 SACLA供用開始

平成24年 4月 JASRIは公益財団法人へ移行2 -

利用促進体制

JASRI

※人員数はH24年4月1日時点



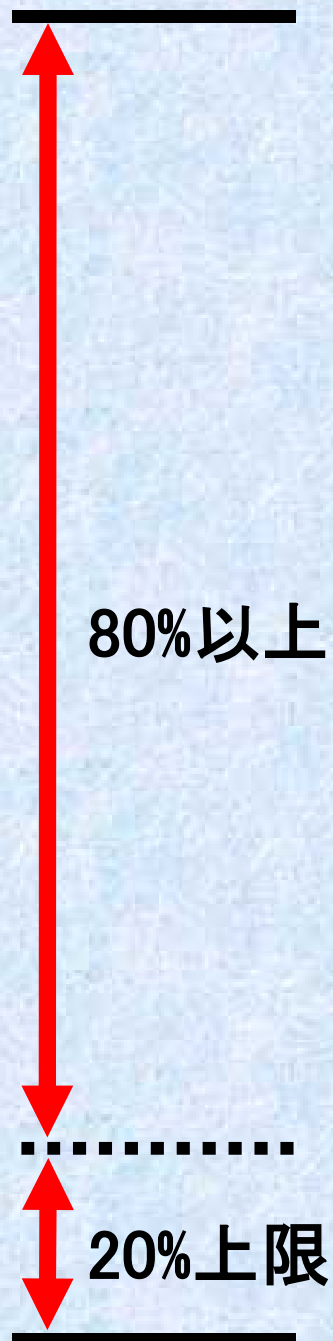
加速器部門、制御・情報部門、光源・光学系部門などのバックアップのもと、有機的に連携しつつ、利用促進業務を実施

共用BL及び専用BLの利用制度(概要)

- 成果を公開する(非専有)利用は施設利用料金(運営費回収方式によるビーム使用料)を免除
- 成果を公開しない(専有)利用は施設利用料金(運営費回収方式によるビーム使用料)を徴収
- 成果の公開有無に拘わらず利用に係る実費を徴収〔平成18年度下期より「消耗品実費負担制度」を導入〕
- これらは、全利用者同一基準で適用



注) 成果専有の通常利用における利用料は、共用BL:480千円/8時間、専用BL:312千円/8時間



<h2>一般利用</h2>	<h3>一般利用研究課題</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・通常課題 ・緊急課題 ・長期利用課題 ・成果公開優先利用課題 ・成果専有課題(時期指定含む) ・萌芽的研究支援課題
	<h3>重点利用研究課題</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・領域指定課題(重点産業化促進課題 他) ・利用者指定課題(重点パワーユーザー課題)
<h2>施設保留</h2>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急課題・時期指定課題・測定代行等 ○ 研修・講習会・機器入替・調整
<h2>登録機関 12条利用</h2>	<h3>登録機関JASRIによる調査研究等</h3> <p>(共用促進法第12条に基づき、文科大臣の承認を経て利用)</p>

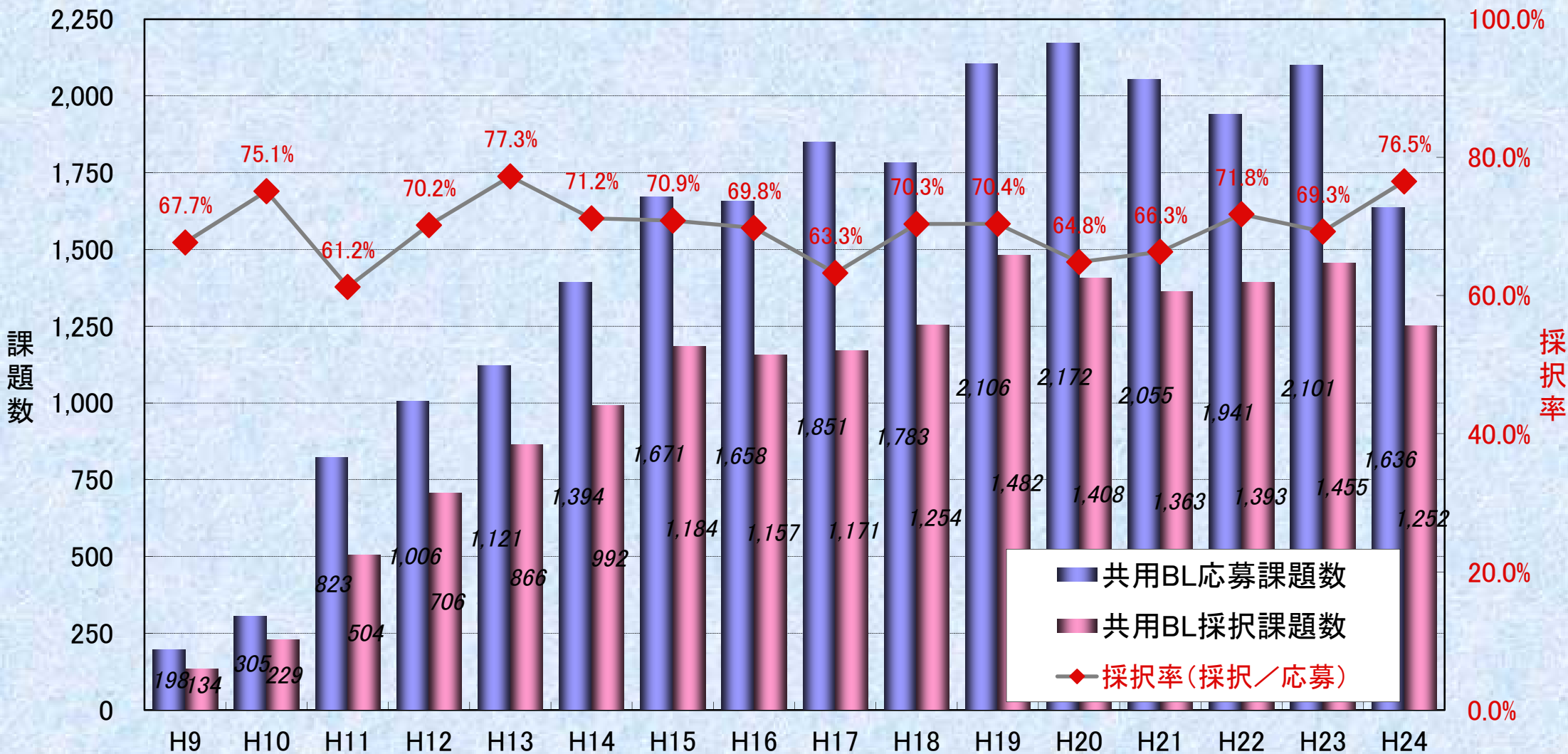
重点研究課題の変遷

利用者のニーズや研究動向を踏まえて、柔軟な利用の枠組みを構築

1997		1998		1999		2000		2001		2002		2003		2004		2005		2006		2007		2008		2009		2010		2011		2012		2013			
97B		98A		99A 99B		00A 00B		01A 01B		02A 02B		03A 03B		04A 04B		05A 05B		06A 06B		07A 07B		08A 08B		09A 09B		10A 10B		11A 11B		12A 12B		13A 13B			
一般課題・緊急課題																																			
一般成果専有課題・時期指定課題 [有償利用]														測定代行																					
特定利用課題										長期利用課題																									
萌芽指定												萌芽的研究課題										(1年課題開始)													
成果公開優先利用 [有償利用]																																			
重点 研究 課題		トライアルユース														メディカルバイオ (MB) ・トライアルユース・拡張MB																			
		トライアルユース										重点産業利用 (トライアルユース)																							
		産業利用関連施策										戦略活用プログラム																							
																重点産業 年4回募集										重点産業化促進									
		ナノテクノロジー支援										重点ナノテクノロジー支援										重点ナノテクノロジー支援													
		タンパク3000										重点タンパク500																							
														重点パワーユーザー (PU)																					
														重点グリーン/ライフ・イノベーション推進																					

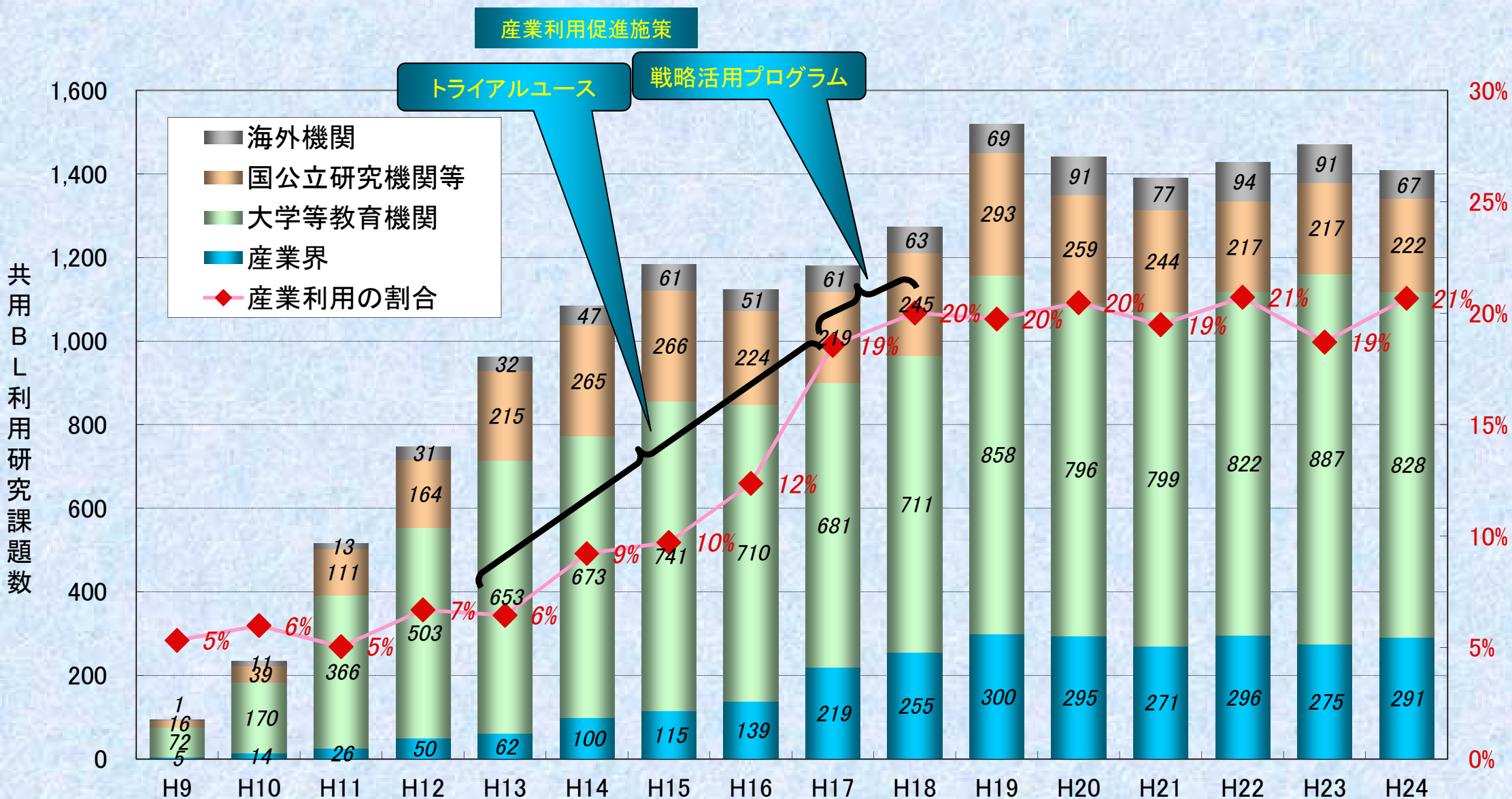
共用BL利用研究課題 応募・採択状況

共用BLの利用について、課題の応募数・採択数ともに漸増している。課題採択率は60～70%強で推移している。



共用BLにおける所属機関別利用研究課題数

共用BLの利用における、機関別の課題数の推移。産業界からの利用が増加しており、近年では20%前後で推移している。



※所属機関分類

- 大学等教育機関：国公立大学、私立大学、高等専門学校等
- 産業界：民間企業(海外企業の日本法人を含む)

- 国公立研究機関等：独立行政法人、大学等共同研究機関、公益法人、特殊法人等
- 海外：海外の全ての機関・法人等